

全港湾関西地方本部 設立60周年 記念レセプション



2023. 12. 8
NO. 673号

全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-27

06-6574-8424
078-303-0800



全国港湾の真島委員長による乾杯の音頭でスタート



真島委員長

ら1年にも満たない1946年7月には全日本港湾同盟を足させ、2年後の1948年6月には単一組織を成し遂げ現在の全日本港湾労働組合が誕生しました。戦後間もない当時は港湾の荷役と復旧に社会が激動する中、全港湾の原形がこうしてつくられました。分断が一層深まる現在を想像していたかのよう反戦平和と搾取のない社会の建設を目指し、階級的労働運動への歩みこそが活動の原点であると諸先輩方が唱えています。弾圧攻撃を受けながらも屈せず、奮起し、全港湾関西地方本部は1961年当時の大阪、神戸地方本部を組織再編運動を活性化するため統一され、本年をもって満62年を迎えました」と全港湾ならびに関西地方本部成立の歴史を語りました。

全港湾関西地方本部設立60周年記念レセプションが10月27日に弁天町アートホテル大阪ベイタワーで盛大に執り行われました。全港湾中央本部、各地方、支部、共闘関係、分会、企業、関係各位にご臨席いただきました。主催者代表挨拶では、山関西地方本部執行委員長から「組合、事業者代表、友好団体、業界団体の皆様にはご多忙にも関わらず本式典にご臨席たまわり、また、関西地本諸活動へのご支援、ご協力に心から感謝します」と謝意を述べ、「本式典は昨年同時期に行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの流行で延期となりました。本年5月には緩和され、ようやく開催される事を喜び、分ちち合いたいと思います」と

関西地本の成立
し、「歴史を振り返りますと昭和20年、敗戦の様相が深まる頃、戦前から労働運動に携わってきた諸先輩方の指導が実を結び、終戦か

関西地本の抱負

続けて「現在は産業別闘争を基本とし、港単位の大衆路線を定着させるところとなっています。諸先輩方の輝かしい活動と残された実績を高く評価し、深く感謝すると同時に、全港湾関西地方本部は今後においても組織を挙げ



河野副委員長

て組合員、労働者階級の経済的地位の向上と港湾、運輸産業の社会的地位の向上に努め、全港湾の名を汚さぬよう全身全霊をもって邁進します」とこれからの関西地方本部の抱負を述べました。
また来賓代表挨拶では、全日本港湾労働組合中央本部の鈴木中央執行委員長よりご挨拶をいただき、全国労働組合連合会の真島中央執行委員長による乾杯の発声で始まりました。
余興では、歌唱披露で浪曲師の京山幸枝若さん、相撲甚句では間口運輸株式会社の前田代表取締役会長にご披露いただき、最後に関西地本の河野副委員長の閉会の挨拶で終了しました。
普段から親しい関係の方や、顔を見知った方、初めて顔を合わせ方まで各企業、地方、関係者、組合員の仲間たちとも幅広い交流ができ、賑やかで盛大な60周年記念レセプションになりました。

「ちいさい秋」と口ずさみながら目を凝らしても、秋は見つからぬまま冬がやってきた。長引いた猛暑の夏が恨めしい◆暑さの影響から各地で農作物が不作に陥っている。原油高が重なって野菜は高騰、一時は2倍近くまではね上がったものも。11月に入り沈静化の兆しが出てきたが、ネギやタマネギは高止まりしたまま◆海水温が上昇し、サケ漁に出たらブリが捕れたというニュースが伝えられ、今やサンマも高級魚になりつつある。次なる庶民の味方はどんな魚か◆統計では、物価の動きを差し引いた実質賃金は18カ月連続のマイナスだ。5月に発表された川柳コンクール1位は「また値上げ節約生活もう音上げ」半年たっても一向に状況が変わらないのが辛い◆経済の専門家によると、脱するには「賃金アップと円安の歯止めを同時に起こすことが必要」とのこと。そんなウルトラCのような政策が今の政権や、国会質問で本人も認識していることがわかった「増税めがね」と揶揄されるあの人に打ち出せるだろうか◆値上げや増税に音を上げたまま、年は越したくないものである…。

おおさか総がかり集会 日本国憲法の平和的 生存権の実現を



とめよう大軍拡

く非難しました。

同時にこうした事態の背景としてイスラエルがガザ地区を占領下におき、「天井の無い監獄」に封鎖してきた歴史にふれ、「ガザの人々が死に極めて近い状態で暮ってきた」として、「ひとしく恐怖と欠乏から免れることを全世界の人々に対して謳う、日本国憲法の平和的生存権の実現を目指し、私たちができる活動を広げよう」と呼びかけました。

憲法の平和的生存権の実現を目指し、私たちができる活動を広げよう」と呼びかけました。

11月3日、扇町公園にておおさか総がかり集会が開かれました。

清末愛砂さん(室蘭工業大学大学院教授)のメインスピーチでは、パレスチナで子ども支援に携わった経験から、ガザでのジェノサイドについて、「非人間化の重大な危険である」とし、「既に1万人近く犠牲、その4割が子どもと報じられていることについて、「明白な国際法違反の戦争犯罪だ」と強

く非難しました。同時にこうした事態の背景としてイスラエルがガザ地区を占領下におき、「天井の無い監獄」に封鎖してきた歴史にふれ、「ガザの人々が死に極めて近い状態で暮ってきた」として、「ひとしく恐怖と欠乏から免れることを全世界の人々に対して謳う、日本国憲法の平和的生存権の実現を目指し、私たちができる活動を広げよう」と呼びかけました。



いかそう憲法

垣島で住民用の遺体収容運搬訓練が行われるなど、本気で戦争準備をしている実態を語り、「戦争を止めるたたかいに今こそ立ち上がるう」と呼びかけました。

共産・立民・社民・れいわの各政党からのスピーチでは「市民と野党の共同で憲法を守り抜こう」と訴えました。

参加者全体で「いかそう憲法」「とめよう大軍拡」のコールと共にポテッカードを掲げました。



大規模なデモ行進

神戸憲法集会

集会后は中崎町、南天満の2コースに分かれてデモ行進を行いました。

執行委員 中川原博

「軍事大国化」への動きと平和憲法のメッセージ

11月3日、西区文化センターにて「日本国憲法公布77周年 神戸憲法集会」が開催され、会場からあふれ

んばかりの約400名の市民が参加しました。集会は2部制で行われ、最初に文化行事として広瀬一葉さんによるピアノ演奏や、アコーディオンとおもちゃ楽器などを同時に奏でる明るい雰囲気の中で演奏が会場を包み



広瀬一葉さんの楽しい演奏

ました。広瀬さんは震災復興支援のため

めにCDを制作・販売されているので、興味のある方は探してみてください。

次に早稲田大学教授の水島朝穂さんが「『軍事大国化』への動きと平和憲法のメッセージ」と題した講演を行いました。

あらかじめ配布された資料の内容から難しいお話をされるのかと構えましたが、プロジェクターで写真を使って話を進め、ロシアとウクライナの戦争やイスラエルとハマスの戦争について、戦争はなぜ起きるのか。誰が戦争をさせたいのか。日本の軍事費大増強や武器購入などの軍事大国化の裏側(アメリカ主導)についてなど、資料にはないオフレコ的な話がほとんど興味深く聞きました。

そうした表の話から裏の話までを水島さんはホームページにて反戦・平和への様々なメッセージや記事を書かれています。



早稲田大学 水島教授による講演

毎週アップされており、過去の記事もさかのぼって見られますのでご覧ください。副委員長 道下 拓也

大阪交運共闘会議宣伝行動 駅頭で交通・運輸の問題を訴える

10月26日、天王寺駅前に陸・海・空・港湾で働く労働者で組織する大阪交運共闘会議の宣伝行動を行いました、全体で20名、阪神支部からは10名が参加しました。

宣伝では、タクシードライバーとして働く仲間から「ライドシェアには安全性の問題があり、多くの国で禁止されている。ライドシェア解禁には最後まで反対していく」ことを訴えました。

関西空港で働く管制官の仲間からは「大阪府は大阪万博で空飛ぶ車の導入を打ち出している。管制官は今でも人手不足なのに、空飛ぶ車の管理などとてもではないが手が回らず、国民の命が守れない」などの訴えがありました。

阪神支部(港湾)からは、入江幹事が「大阪万博が開催される夢洲には、関西の物流拠点となるコンテナ

ナターミナルがあり、以前から渋滞問題があるなか、万博の工事関係車両で1日数千台のトラック等が入りしており、さらに渋滞が深刻化し、関西経済の玄関口が機能不全に陥っている」と訴えました。

通行中の方々も忙しく足早に移動されている中、街宣に興味を持っていただき、足を止めて耳を傾ける様子も見受ける事ができました。

近通分会 泊 健太郎



駅頭で訴える入江書記次長

上組コンテナターミナル見学説明会

港湾労働者の職場を 永続可能事業としたい

11月2日、PC-18上組コンテナターミナルの拡張工事が完成したことを受け、神戸港湾労働組合協議会として見学・説明会に参加しました。

当日は全国港湾より玉田書記長・松永中執・岡部中執も参加しました。

はじめにインゲートとアウトゲートを確認し、その場から西側を見渡すと遠隔操作RTG作業エリア（全5レーン）が広がり、コンテナが積み重ねられていない状況



PC-18にて説明を受ける参加者

持つ重要なインフラであるコンテナターミナルの運営と港湾労働者の職場を永続的な持続可能事業としたい。そのためには労使間の協力が必須であり、2020年の労使協定を厳守する」と説明を受けました。

そして、遠隔操作RTGの実証実験の経過説明と今後のスケジュールとして24年度に4基、25年度に4基、26年度に4基の合計12基の追加を予定しているこ

との報告を受けました。意見交換では、既存のコンテナ取り扱い量、今後予定される取扱量や、RTGの安全性・作業員の職域確保についての意見が出されました。

質問に対して、上組からは「導入予定のRTGについては安全・安心のテナー

第二回中央トラック・海コン合同対策会議

2024年問題

悪しき習慣を打ち破り 魅力ある産業へ

11月6〜7日、日港福会館にて中執3名・各地方代表20名の参加で第一回中央トラック・海コン合同対策会議が行われました。

今回、旅客関係は別日での開催となり、関西からは4名が参加しました。

はじめに、第一回目ということもあり、担当中執の畠山中執より今回の会議の進め方について説明と挨拶がありました。

その後、中央交運労協事務局長である慶島氏より「2024年問題」と題し

物流革新政策 パッケージ

講義を受けました。はじめに今年6月に政府が提出した「物流革新に向けた政策パッケージ」につ

になっている。ゲートシステムも変更して作業効率を上げるように努めるとも今後、遠隔操作RTGの本格導入については事前に組合と協議を重ねていく」と回答があり、見学・説明会を終了しました。

副委員長 松本 栄二

また、「標準的な運賃制の拡充・徹底」とあり、これに対しても「トラックGメンの監視を強化していく」と記されていますが、どこまで実効性のあるものになるかは今後、期待していきたいと思いました。

畠山中執より、新聞記事を引用され2024年問題について「標準的な運賃」については8月時点でも微増に留まっている現状であることや、全ト協の坂本会長が「今までの悪しき習慣を打ち破らないといけな

荷の軽減や取引価格の見直し、そして多重下請け構造の是正等の問題に対し「トラックGメンによる発荷主企業のみならず、着荷主も含め、適正な取引を阻害する疑いのある企業を監視強化とする」しています。

①物流の効率化②荷主・消費者の構造の行動変容③商慣行の見直しの3項目がありました。特に商慣行の見直しについて、荷主・物流事業者間における物流負



「2024年問題」の講義を受ける

い」と全国トラック運送事業者大会で発言された内容を紹介されました。

2024年問題の解決にあたり、我われのトラック産業が大きく飛躍し魅力ある産業に変わるきっかけになればいいと思いました。

その後、各地方の報告に移り、関西からは近畿整備局の報告と万博工事におけるDICTコンテナターミナル渋滞や待機レーンの増設等を報告しました。

翌7日、冒頭に河野担当中執より昨日の政策パッケージの要点のまとめに加え、「2023年交運労協

パート労働者らの収入が一定額を超える」と、年金などの社会保険料の負担が生じ手取り収入が減ること。

手取りが減らないよう働く時間を調整するケースが少なくない。人手不足への対応が急がれる中、政府は「年収の壁」解消に向け23年10月から25年度までの支援強化パッケージを実施。

従業員100人超の企業の場合、年収が106万円を超えると、配偶者の扶養をはずれ厚生年金や健康保険の保険料の支払いが生じる。

支援強化パッケージ

の制度・政策要求を参考に2024年に行う本省要請書の中身に對してどう加筆・修正を加えるかを各地方で議論して1月に行う全港湾中央委員会までに提出してほしい」と参加者に求めました。

最後に畠山中執より「来年の行政要請行動の日程を大枠で5月27日〜29日と設定し、それまでには各地方で要請行動をしてほしい」とし、二日間にわたる第一回中央トラック・海コン合同対策会議を終了しました。

副委員長 松本 栄二

では「106万円の壁」について、手取りが減らないよう賃上げした企業に助成金などの支援を行う。

上記以外の場合、年収130万円超で国民年金や国民健康保険の保険料支払いが生じる。

「130万円の壁」には、一時的に年収130万円を超えても企業が証明を出せば連続2年まで扶養にとどま

政府は25年に向け抜本策を検討する方針。重い保険料こそ「壁」である。

低所得者の保険料引き下げが必要だ。

ことばのミニ事典 「年収の壁」

大阪港 官労使 合同防災勉強会 南海トラフ地震を想定し、 学習と避難訓練を実施

11月17日、大阪港勤労福祉会館に於いて大阪港湾局主催による「大阪港の防災について、官労使合同勉強会」が官10名、企業34名、組合27名の総勢71名出席のもと開催されました。

大阪港湾局長の丸山順也氏より、近年の台風被害及び局地的豪雨などによる水害の多発や、平成30年に大阪にも甚大な被害をもたらした台風21号の被害報告と、この先40年以内に90%の確立で発生すると言われている南海トラフ地震に触れられ、「災害が起きれば大きな混乱を招く事となるため、事前に知識を深め対策を検討し講じる事」の重要性を訴えました。

その後、防災・海上保安担当課長の出口幸司氏より①高潮と津波について②大阪港の台風・高潮対策③平成30年の台風21号を踏まえた取り組み④大阪港の地震・津波対策の講演がされました。

質疑応答のなか、私の方から東日本大震災以後、港頭地域での避難訓練取り組みの要請を行ってきた経過と継続的取り組みについての感謝を述べ、これからも取り組んで頂きたいという事と、港頭地域内に於いて聞き取れない地域への防災スピーカーの増設を要請しました。大阪港湾局より「問題ありと取らまえ検討課題とし改善に努めたい」との回答が示されました。

・津波避難訓練が実施されました。

DICT集中管理棟内で勤務中の事務員、周辺作業員を含め約70名が参加し、屋上への垂直避難行動後、今回の避難行動訓練の主旨説明と継続的な取り組みへの理解を訴え、終了となりました。

参加規模及び訓練内容など多くの課題があると思われませんが、まずは問題意識を持ち、対策を講じ、改善を重ねる事により実効性のあるものに作り替えていく事が可能である取り組みであったと改めて実感できました。



DICT管理棟屋上に避難

過労死等防止対策シンポジウム 疲労を蓄積させず良質な睡眠を

厚生労働省が主催する過労死等防止対策推進シンポジウムが11月6日、グランフロント大阪で開催され、労職対委員5名が参加しました。

副委員長 坂本 幸治

大阪労働局から取り組み



また2024年問題については、「自動車運転者は荷待ち時間の削減、建設業では休息が取れる工期設定を具体的且つ効果的な対策と位置付けている」との説明がありました。

また、自動車運転者の過労死は業種別で最多であり、原因として脳・心臓疾患が突出しています。長い労働時間と睡眠時間の少なさは、本人が眠気を感じていなくても反応は明らかに遅くなるなどのデータも示されています。

「うつ」の症状を発症するとは何が正常で何が異常であるかの分別もつかなくなくなり、仕事を辞める判断も出せずに最悪の結果になってしまふ」との事で、組合員の皆さんの周りでも表情が暗い・元気がない同僚がもしいるのであれば、必ず一声かけてもらう事でお互いを励ましあう行動につなげてもらいたいと思います。

書記次長 入江 友規

分かるかな？

懸賞クイズ



【問題】

湖の上に睡蓮が浮かんでいます。毎日、睡蓮は2倍に増えます。睡蓮が湖全体を覆うのに50日かかります。では、湖の半分を覆うには何日かかる？

672号の回答
「大阪」

4名の方から応募があり、全員が正解でした。以下の正解者4名にQUOカードを進呈します。

萩原 幸一 (シンケン)、石水 大資・河野 亜紀・田中 俊行 (内外フォーディング)

673号の締め切り日は、1月12日(金)です。ふるってご応募ください。